

令和7年度第1回契約監視委員会

【議事要旨】

令和7年6月
独立行政法人中小企業基盤整備機構

- I. 日 時 令和7年6月10日（火）14：00～16：40
- II. 場 所 独立行政法人中小企業基盤整備機構 6階 第一役員会議室
- III. 出席者 （委員）内田委員長、笹野委員、藤田委員、齋藤委員、笠原委員
（機構）森澤財務担当理事
後藤財務部長、鈴木監査統括室長、神保監事室長、
越智企画課長、若月財務部審議役

【議事概要】

1. 審議事項

- (1) 令和6年度（7年1月～3月）契約の一者応札案件
今回の審議対象期間（令和6年度7年1月～3月）の契約案件のうち、一者
応札・応募となった、8件の案件について、カテゴリー別にまとめて、点検
・審議した。
（※カテゴリー別個別案件については（別紙1）参照）
- (2) 令和6年度中小機構調達等合理化計画の実績及び令和7年度中小機構調達等
合理化計画(案)について、点検・審議した。

2. 報告事項

- (1) 大規模調達案件に係る再委託、外注に関する適切性の確認
・「100億企業実行事務局」のうち中小企業成長加速化補助金
（中小企業成長加速化支援事業）
・「中小企業新事業進出促進補助事業」に係る事務局業務
・「事業承継・M&A事業」事務局業務
- (2) 令和6年度契約概況等について
- (3) 令和6年度契約監視委員会（第2回）の意見等に対する検討・対応状況
- (4) 令和6年度（7年2月～3月）公益法人に対する1件あたり1,000万円以上の支
出や前年度において同一の支出点検について

－以上－

○カテゴリー別個別案件の審議概要

[種別：システム開発・保守]

(1) ①【データベース基盤に係る保守業務（令和 7～8 年度）】
議事概要・主な意見
リモート化を考えるのはタイミングとして望ましくなく、逆に現時点では基盤システムがより普及するための施策、例えば説明会等を開催しサンプルコーディング等を解説する等、新規ユーザを積極的に開拓する等の踏み込んだ保守対応が必要と考える。 また、一者応札回避のための体制作りを進め、十分な意見交換を行うこと。
(1) ②【共通申込システムに係る保守業務（令和 7～8 年度）】
議事概要・主な意見
作業別・時期別に業務マニュアルの整備を進め、入札における参画障壁を取り払うよう努めること。 また、一者応札回避のための体制作りを進め、十分な意見交換を行うこと。
(1) ③【令和 6 年度 財務会計システム（SPAT-A）に係る EHP 適用業務】
議事概要・主な意見
システム調達はどうのように調達するかも重要であるが、何を調達するかを論じる方が効率が良くなることがある。ゴールの姿に目を向けて検討を継続していただきたい。
(1) ④【令和 7 年度中小企業大学校東京校校内インターネット接続機器等の保守業務】
議事概要・主な意見
メーカーによるロックがかからないように、基本的なインターネット接続機器については広範に普及しているメーカーのものを採用していただきたい。

[種別：物品等購買/リース]

(1) ⑤【イノベーション助成グループ 新補助金業務追加に伴う什器等調達業務】
議事概要・主な意見
一者応札・応募削減に向けた取組チェックシートにある項目を出来なかった理由を精査し、今後の調達では調達・管理課と連携を取っていただきたい。
(1) ⑥【中小機構保有施設（クリエイション・コア福岡）で使用する電気の調達】

議事概要・主な意見
今後は急遽調達という事態が生じないようにしていただきたい。 事前の情報開示について前広な対応をしていただきたい。
(1) ⑦【令和6年度独立行政法人中小企業基盤整備機構中国本部公用車賃貸借】
議事概要・主な意見
一者応札・応募削減に向けた取組チェックシートの取組について事前の準備不足が認められる。早めの情報収集やノウハウの蓄積がある調達・管理課との連携強化を通して対策していただきたい。

[種別：業務請負]

(1) ⑧【中小企業基盤整備機構関東本部 中小企業大学校三条校 自動車運行管理業務】
議事概要・主な意見
勤務経験等の条件がどこまで緩和できるかという点でかなり左右されることになる。他地区の調達状況を確認し条件を緩和出来ないかなど検討していただきたい。 業務そのものの必要性について検討するとともに、一者応札・応募削減に向けた取組チェックシートの取組について、前広な実施をお願いしたい。

○中小機構調達等合理化計画（令和6年度実績・令和7年度計画案）の審議概要

(2)【令和6年度中小機構調達等合理化計画の実績及び令和7年度中小機構調達等合理化計画(案)】
議事概要・主な意見
1) 官製談合防止研修会については受講者が増えるよう対策してほしい。 2) 調達の勘所、過去の失敗事例といった資料を地域本部や契約担当者に展開し、浸透を図っていただきたい。 3) 障害者への優先調達は目標値として印刷や清掃等の業務を対象に、分母の設定を検討していただきたい。 4) 一者応札・応募削減に向けた取組チェックシートの取組内容を分かりやすく具体化出来ないか検討していただきたい。

【講評】

- 1) 1 者応札の個別案件については、各委員からいただいた意見をしっかりまとめて改善を実施していただきたい。
- 2) 1 3 項目のチェック項目の履行については各原課が具体的に取るように、調達・管理課から具体的な手法を示していただきたい。
- 3) いかに早く情報開示出来るか、参加要件の見直しをするかが重要。調達の6ヶ月まえにホームページに情報を載せたがそこで止まってしまい、直前になってまた動き出すという事態が認められるので、趣旨目的を理解してチェックシート記載の内容に取り組んでいただきたい。
- 4) 初めて入札に参加する企業が戸惑わないように、調達にあたっては参考資料を準備していただきたい。
- 5) 過去には遠隔地で入札に参加出来ないという事例もあったが、電子入札等の活用についても検討していただきたい。
- 6) 調達合理化計画については、官製談合防止法研修会や年6回の契約担当者情報共有会議を実施することで組織間のキャッチボールを行い、深度化を図っていただきたい。
- 7) 調達・管理課がこれまで蓄積したノウハウをしっかりと教育に活用していただきたい。

以上